

岡本監輔 （あきまのり） 儒者。天保十年十月十七日阿波國美馬郡三谷村生れ、
明治二十七年十一月九日歿（一八元一九〇四）。岩木齋庵等、（あきまのり）。文久
二年維太の渡り探検すること四度、慶應元年全上の調査を完了。二年
山東直砥と北門社を興じ北方開發を提唱。維新後箱館裁判所權判事と
經て教育界に入り、東京大學豫備門教師、獨り協會學校教授、徳島縣
尋常中學校校長、臺灣總督府國語學校教授等歴任。

著書に『萬國史記』全十冊（明治十一年五月岡本氏蔵版）、『要言三類
纂』全二冊（明治十一年九月自版、内外兵事新聞句他發兌）、『萬國
通典』全六冊（二十五年憲章校、一一・明治十七年四月、二四・五月集義
館蔵版、五六・七八・六月、九十、十一十一・八月自版、江島喜兵衛
・稲田佐兵衛發賣）、『祖志・自一卷』全八卷（明治二十二年七月六日自
刊）、『名神序頌』（明治二十八年六月）二十日徳島・黑崎精二刊）、
『皇道鼓吹』（明治二十九年六月）二十五日徳島・黑崎精二刊）、『越
山先生傳』（明治二十九年九月十五日徳島・自刊）、『國文之集』（明
治二十二年二月）二十日新舎）等。

